



アドバンス・ケア・プランニング研修会

今年度のACP研修会は「基礎編」と「実践編」を開催します。

基礎編は、多職種の連携支援に繋がるACPの基礎知識を共通して学びます。実践編は、多職種が療養者・ご家族の思いや意向を踏まえ、療養者とともに、よりよい話し合いに向かうためのステップとなる「臨床倫理」を学びます。多職種連携研修会は、さまざまな職種と顔を合わせ、互いを理解しあう機会ともなります。ぜひご参加ください。

※各研修会は、日本医師会生涯教育制度 CC13：医療と介護および福祉の連携・2.5単位に該当します

基礎編 “多職種に共通する支援姿勢を学ぶ”

- 日時：①令和7年12月11日(木) ②令和8年1月17日(土)
いずれも14:00～17:00
- 申込締切：①令和7年11月24日(月・祝) ②令和7年12月25日(木)

● 申込み
<https://x.gd/ptER1>



昨年度に引き続き、講義とグループワークでACPの基礎を学びます。そもそもACPとは？多職種は「何のために」ACPを支援するのでしょうか。今回は、食事や排せつという生命の根源的な営みにかかる支援ケースを基に、多職種でグループワークをします。普段の支援を振り返り、改めてACPIについて考える研修会です。



●プログラム（2日間とも同一です）

第1部 講義 「誰のための、何のためのACPなのか？」

慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室

一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長 山岸 暁美 氏

第2部 グループワーク 事例をもとにチームで考えます。

実践編 “臨床倫理の視座で対話を深める”

- 日時：令和7年11月1日(土) 14:00～17:00
- 申込締切：令和7年10月19日(日)

※ACPの基礎知識をお持ちの方の受講を推奨します。（基礎編の受講は必須ではありません）

● 申込み
<https://x.gd/hfMRn>



今年度より実践編をスタートします。本人の意向を尊重し、「本人にとっての最善」に向けて多職種で支援を進める、そのプロセスには様々なジレンマが生じます。そのジレンマにどう対処していますか？本人、家族、医療・介護の専門職チームの話し合いが「最善」に向かうためには「対話」が必要です。多職種でおもいを叶えるよりよい支援について、臨床倫理を入り口に考えます。



●プログラム

第1部 講義 「おもいを叶えるために

－在宅医療・介護連携の中での臨床倫理的課題－

いなば法律事務所 代表弁護士、日本臨床倫理学会 副理事長

久留米大学医学部客員教授、三重大学医学部客員教授 稲葉 一人 氏

第2部 グループワーク 事例をもとにチームで考えます。

対象者：名古屋市内の在宅療養者支援に携わる医療・介護の多職種 市内在勤者優先
定員：78名/日 ※超過時は職種バランスを考慮し人数調整する場合があります。
場所：名古屋市医師会館 6階講堂（東区葵1-4-38）

問合せ 名古屋市はち丸在宅支援センター事業企画グループ 052-971-0874(代)